



明日香・聖徳通信



令和6年1月12日発行 校長 角田 哲典 第9号

『新年を迎えて～甲辰（きのえのたつ）～』

2024年（きのえのたつ：甲辰）年が始まりました。

甲は、十干（じっかん：甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸）の1番目にあたり、意味の一つに「樹木がしっかりと成長する様子」とあります。

辰は、十二支（子・丑・虎・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥）の5番目にあたり、意味の一つに「草木が成長し、ますます勢いづく様子」とあります。これらのことから、甲辰年は、いろいろなものが活気付き、一層成長が期待される年とされています。

振り返ると、3年間にも及んだコロナ禍から、昨年5月、新型コロナウイルス感染症は5類感染症に移行しました。それに伴って、社会も学校も、変化を遂げてきた年でした。単純にコロナ禍以前の生活に戻るのではなく、コロナ禍で改めて考えさせられたり得られたりしたことをしっかり生かして、教育活動を進めてまいりました。昨年の教育活動をスムーズに進められたことは、保護者のみなさまのご理解・ご協力があったからこそと感謝しております。改めてお礼申し上げます。

今年は「登竜門」のことわざにもありますように、鯉が龍になるよう、これまで培った力を存分に発揮して飛躍する1年になるように…と思います。

子どもたちの良さを認め、励まし、見守り、信じ、校訓「誠・力・愛」（小学校）・「自律・和協・誠実」（中学校）を目指し、教職員一同、力を合わせて参ります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

防災意識の向上を！

穏やかな一年が始まると思っていた矢先、元日に、能登半島で震度7の地震が発生し、広範囲にわたって多くの方が被災されました。たくさんの尊い命が奪われ、家屋が全焼し、今、現在でも凍える寒さの中、懸命に捜索救出活動が続けられています。本当に心が痛みます。石川県能登半島地震により犠牲となられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、私たちはこの事実を受け止め、いつ私たちの地域でも起こってもおかしくないという前提のもと、地震をはじめとする危機管理意識を高めていく必要があると思いました。3学期にも、小・中で「地震による避難訓練」を予定しています。この、避難訓練により一層の高い志で臨むよう、始業式で児童や生徒と再確認をしました。

どうかご家庭でも、休日や下校後に地震等の災害が起きたときの対応や、危険箇所・避難場所についての再度話し合いをお願いします。

「人を信じよ、しかし、その百倍も自らを信じよ」(手塚治虫)

漫画家の手塚治虫さんについての話をします。

「鉄腕アトム」「ブラックジャック」「火の鳥」「リボンの騎士」を知っている人がいるでしょうか。それらを書いた人が手塚治虫さんです。手塚さんは生涯に604もの作品を描き「漫画の神様」と呼ばれた人です。枚数では15万枚以上になります。1日7枚の原画を毎日休まずに描き続けても60年かかります。この枚数は世界一としてギネスブックにも載っています。



日本は今や、世界で一番のアニメ大国となっています。そのおかげで、みなさんは「ドラえもん」や「サザエさん」をテレビや映画館で見ることができます。実は国産のアニメの第一号は校長先生の世代の人が夢中になって見た「鉄腕アトム」という漫画でした。作者は手塚さんです。このテレビ番組は30分でした。それ以来、日本のアニメは30分が目安になりました。

また、手塚さんは世界で最初に漫画のアシスタントを使うという制度をつくりました。それによって世界初の週刊少年漫画を刊行することができました。校長先生も「少年マガジン」「少年ジャンプ」を夢中で読んだ記憶があります。

こんなに仕事をしていますから、手塚さんにはびっくりするような特技がありました。手塚さんは原稿を書くときに、鉛筆で下書きすることなく、いきなりペンで描き始めたそうです。しかも、手塚さんはフリーハンドで、かなり正確に円や直線を描けたそうです。さらには、常に原稿に追われている手塚さんは、飛行機や電車などの揺れる乗り物の中でも作品を仕上げることが、しばしばあったそうです。

そんな手塚さんが「座右の銘」にしていたのが、「人を信じよ、しかし、その百倍も自らを信じよ」という言葉です。座右の銘というのは、その人が一番大切にしている言葉という意味です。

手塚さんは、作品を仕上げながら実際に会うことなく、電話だけで編集者と次の作品の構想を相談することもよくあったそうです。アシスタントとも時間をたっぷりって話をする時間はとれませんでした。ですから、自分が想定していたことと違うことが度々あり、戸惑うことも多かったそうです。でも、どんなときでも、自分自身を信じて、ひたすら漫画を書き続け、素晴らしい作品を世に送り出しました。

この言葉は、常に新しい表現方法を追い求めていた手塚さんがどれだけの強い精神力で制作していたかがよく分かる言葉です。そして、人を信じよという言葉からは、手塚さんの温かな人柄も伝わってきます。

手塚さんの「人を信じよ、しかし、その百倍も自らも信じよ」みなさんも日々の生活の中で大切にしたい言葉ですね。